

目 次

高強度鋼等を用いた新構造建築物の耐震性能評価指針（案）

1. はじめに	1
1. 1 指針(案)の位置付け	1
1. 2 対象建築物	1
2. 材料、部材、接合部等	2
2. 1 高強度鋼の特性	2
2. 2 高強度鋼部材の幅厚比制限	2
2. 3 許容応力度	3
3. 荷重・外力	5
3. 1 評価用地震動	5
3. 1. 1 解放工学的基盤における地震動の設定	5
3. 1. 2 表層地盤の増幅	11
3. 1. 3 建築物への入力	12
3. 2 その他の荷重・外力	16
4. 性能評価	18
4. 1 性能評価項目とランク	18
4. 2 地震応答評価手法	22
4. 2. 1 適切な解析モデルの設定	22
4. 2. 2 時刻歴による手法	24
4. 2. 3 応答スペクトルによる手法	24
4. 3 性能の表示	26
4. 4 性能の検査・確認	28
5. 維持管理	30
6. 評価例	31
6. 1 はじめに	31
6. 2 試設計モデルの概要	31
6. 3 設計用クライテリア、評価用地震動の設定等	35
6. 4 地震応答解析結果の概要	37
6. 5 性能評価ランク	39
6. 5 高強度鋼を使用することによる建設コストに関する補足的考察	40
6. 6 まとめ	40

参 考 資 料

指針(案)第2章関連

2-A 高強度鋼を用いた部材・接合部・架構の実験	41
2-B 幅厚比規定値を超える部分を無効とみなす方法の適用範囲	75
2-C 高強度材料の要素繰り返し試験結果	77

指針(案)第3章関連

3-A 特性化震源モデルの設定	81
3-B 工学的基盤上面までの計算方法	99
3-C 告示スペクトルの拡張と震度の増分	101
3-D 告示スペクトルによる震度7相当地震動の像	119
3-E 荷重の種類	127

指針(案)第4章関連

4-A 什器の転倒・滑動・落下関係	129
4-B 避難行動難度関係	141
4-C 制振構造に用いるせん断棒モデル	145
4-D 超過確率に基づく余裕度の設定	149
4-E ダンパー付制振構造の地震応答評価	155
4-F 高次モード応答評価	175
4-G 限界耐力計算とエネルギー法の併用手法の検討	179
4-H 偏心建築物の地震応答評価	187
4-I 床応答絶対加速度スペクトルの算定	191
4-J 天井の耐震性能評価	195
4-K ローカル・モニタリングについて	207

指針(案)第6章関連

6-A 超高層試設計モデルの室内挙動	211
--------------------	-----

付 録

付-1 エネルギー吸収能力評価のための柱梁接合部の繰り返し載荷実験	215
付-2 既存 RC 造建築物の耐震補強方法の例	225
付-3 浮き上がりを許容した建築物の構造性能評価	235
付-4 天井付帯設備の地震被害例と対策検討のための実験	327
付-5 在来工法天井における簡易的落下防止手法に関する実験	339